



“地域のことは地域で考えよう”

2014年7月29日

おきぎん県内景況・速報 2014年6月

— 県内景況は、拡大している —

■個人消費

スーパー売上高は全店ベースで前年同月を上回り、既存店ベースは下回る。

百貨店売上高は前年同月を上回る。

家電卸出荷額は前年同月を下回り、新車販売台数は上回る。

■建設関連

公共工事請負金額は前年同月を下回る。

生コンは前年同月を下回り、セメントは上回る。

■観光関連

入域観光客数は前年同月を上回り、観光施設入場者数も上回る。

ホテル稼働率は、シティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてで前年同月を上回る。ホテル客室単価は前年同月を上回り、宿泊収入(推計値)も上回る。

■企業倒産

件数は前年同月を下回り、負債総額は上回る。

現場主義とお客様からの信頼

※お気づきの点、不明な点などがございましたら、下記までご連絡ください。

(株)おきぎん経済研究所

TEL:098-869-8711 FAX:098-869-2200

おきぎん県内景況・速報(2014年6月分)

◎2014年6月 おきぎん「カトリア」景況図



◎概況：県内景況は、拡大している。

6月の県内景況は、個人消費関連では、スーパー売上高は「全店ベース」が前年同月を上回り、「既存店ベース」は下回りました。百貨店売上高は雑貨や身の回り品などが好調で、前年同月を上回りました。耐久消費財である家電卸出荷額は、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動減などにより前年同月を下回りました。新車販売台数はレンタカー、軽乗用車需要などにより前年同月を上回りました。

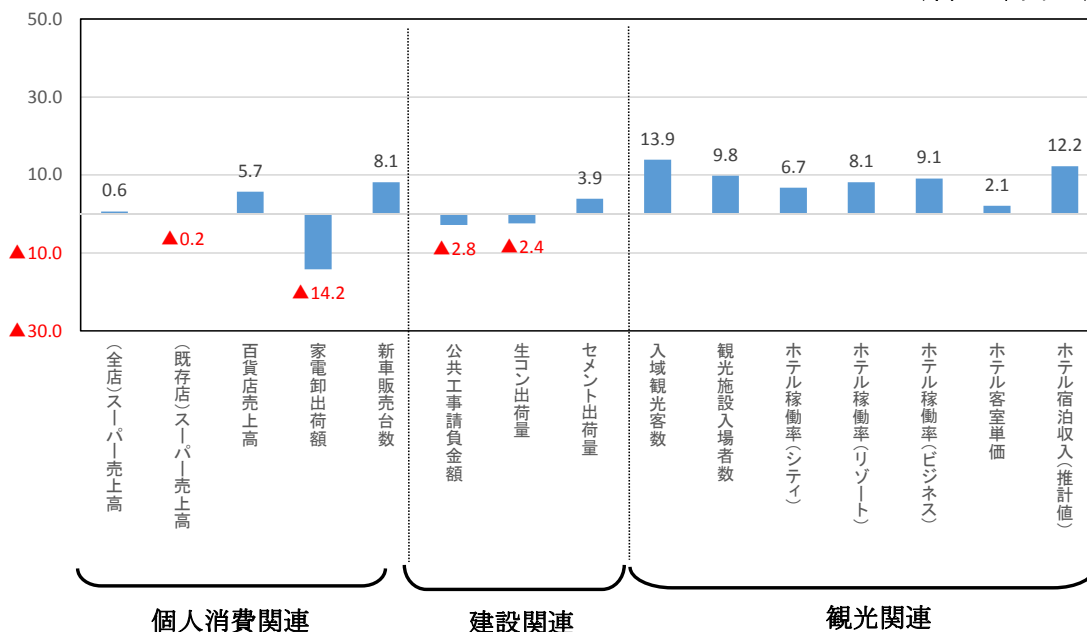
建設関連では、公共工事請負金額は、昨年の国やその他の公共的団体発注による大型工事の反動などにより前年同月を下回りました。建設資材である生コンは前年同月を下回り、セメントは上回りました。

観光関連では、入域観光客数は21ヵ月連続で前年同月を上回り、観光施設入場者数も前年同月を上回りました。ホテル稼働率はシティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてで前年同月を上回りました。ホテル客室単価は前年同月を上回り、宿泊収入(推計値)も上回りました。

このような状況に鑑みて、個人消費において消費税増税に伴う駆け込み需要の反動等による影響が和らぎつつあり、また、建設関連や観光関連では堅調な動きが続いていることから「県内景況は拡大している」と景気判断を据え置きました。(2014年2月に上方修正後から据え置き)

主要景気指標前年同月比

(単位: %、ポイント)



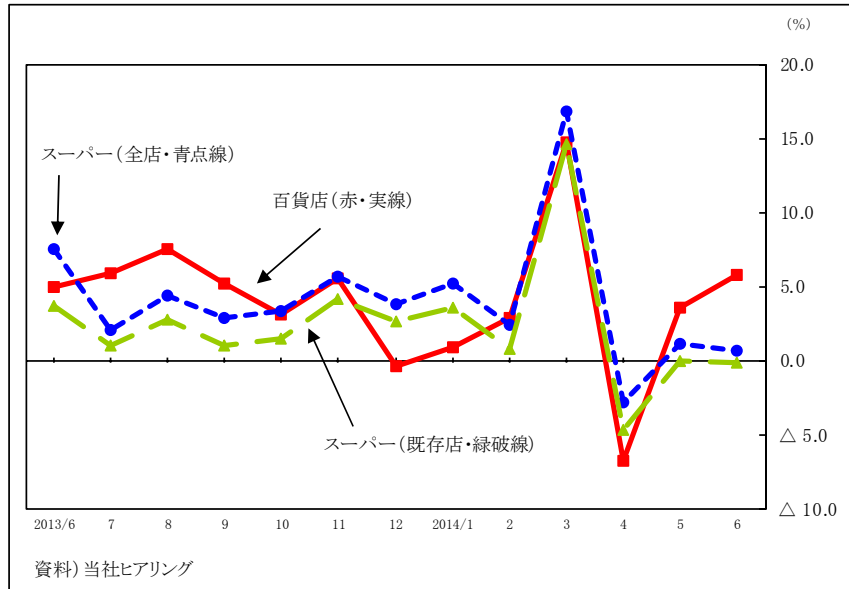


■個人消費： (やや良い)

①スーパー・百貨店売上高…スーパー売上高は全店ベースは前年同月を上回り、既存店ベースは前年同月を下回る。百貨店売上高は前年同月を上回る。

	スーパー売上額		百貨店
	全店	既存店	売上額
2013/6	7.5	3.7	4.9
7	2.0	1.0	5.9
8	4.4	2.7	7.5
9	2.8	1.0	5.2
10	3.3	1.5	3.1
11	5.6	4.1	5.5
12	3.8	2.6	△ 0.4
2014/1	5.2	3.6	0.9
2	2.4	0.8	2.8
3	16.8	14.6	14.7
4	△ 2.8	△ 4.7	△ 6.8
5	1.1	△ 0.1	3.5
6	0.6	△ 0.2	5.7

注)前年同月比



6月の個人消費関連では、スーパー売上高は、「全店ベース(前年同月比0.6%増)」が2ヵ月連続で前年同月を上回りました。消費税増税に伴う駆け込み需要の反動減からの持ち直しが見られ、ウェイトの高い「食料品(同2.7%増)」が前年同月を上回りました。

「既存店ベース(同0.2%減)」では3ヵ月連続で前年同月を下回りました。品目別でみると、ウェイトの高い「食料品(同0.9%増)」は、一部の青果物(大根、じゃがいもなど)で相場価格の変動があるものの、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動減からの持ち直しにより売れ行きが堅調で、前年同月を上回りました。

一方、「衣料品(同3.1%減)」は、昨年比に比べ長梅雨で気温が低く天候に恵まれなかったことから夏物衣料の売れ行きが低調で前年同月を下回りました。家電を含む「家庭用品(同3.1%減)」は長梅雨で除湿機や空気清浄機が堅調に推移したものの、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動減で白物家電(エアコン、冷蔵庫など)や日用品(トイレトペーパー、基礎化粧品など)の売れ行きが低調で、前年同月を下回りました。

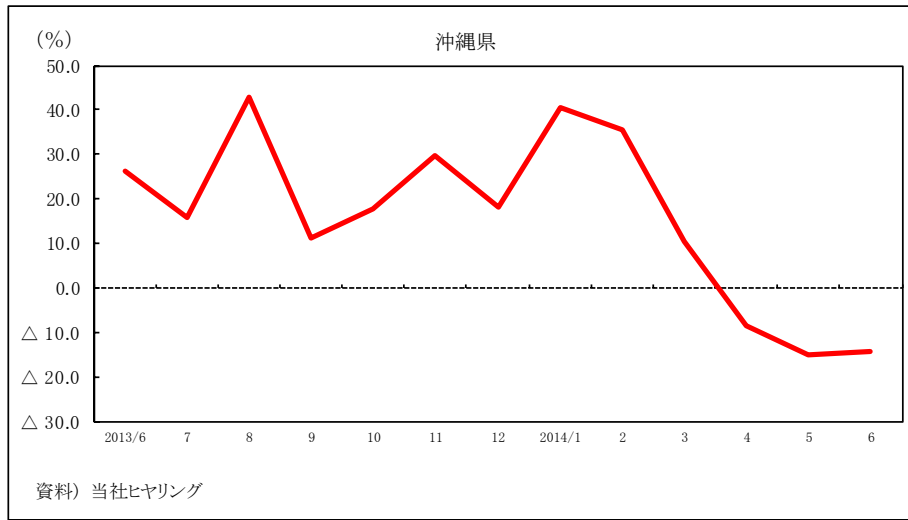
百貨店売上高は、「雑貨」や「身の回り品」の売れ行きが好調で、2ヵ月連続で前年同月を上回りました(同5.7%増)。内訳をみると、ウェイトの高い「衣料品(同1.1%増)」は、「紳士服(同4.8%減)」の売れ行きが低調だったものの、主力商品の「婦人服(同1.6%増)」がテナント改装による集客効果などにより売れ行きが堅調で、前年同月を上回りました。「雑貨(同9.8%増)」は、美術品の売れ行きが好調だったことや、テナント改装による集客効果などにより前年同月を上回りました。

「身の回り品(同17.3%増)」も、観光客数の増加やテナント改装効果により来店客数が堅調に推移したこと、またアクセサリ関連の催事が好調だったことから前年同月を上回りました。「食料品(同3.0%増)」も、物産展の売れ行きが堅調に推移したことやテナント改装による集客効果などから、前年同月を上回りました。

②家電卸出荷額…消費税増税に伴う駆け込み需要の反動減などにより前年同月を下回る。

単位: %	
沖縄県	
2013/6	26.3
7	15.9
8	43.0
9	11.3
10	17.6
11	29.9
12	18.2
2014/1	40.4
2	35.6
3	10.2
4	△ 8.7
5	△ 15.3
6	△ 14.2

注)前年同月比



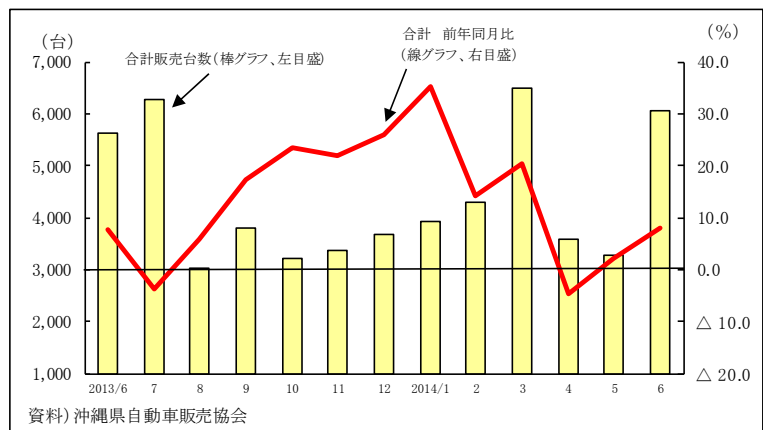
家電卸出荷額は、総じて消費税増税に伴う駆け込み需要の反動減により、3ヵ月連続で前年同月を下回りました(同 14.2%減)。品目別でみると、「テレビ(同 15.1%増)」は2014年6月から試験放送が始まった4KテレビがW杯効果もあって売れ行きが好調で前年同月を上回りました。一方、「冷蔵庫(同 32.3%減)」「洗濯機(同 18.4%減)」は消費税増税に伴う駆け込み需要の反動減、「エアコン(同 12.4%減)」はそれに加えて長梅雨の影響により売れ行きが低調で、前年同月を下回りました。また、「太陽光パネル(同 38.0%減)」も、固定買取価格引下げに伴う需要の落ち着きなどにより売れ行きが低調で、前年同月を下回りました。

③新車販売台数…レンタカー、軽乗用車需要などにより前年同月を上回る。

単位: 台、%					
	台数	合計	普通乗用車	小型乗用車	軽乗用車
2013/6	5,620	7.8	30.9	27.0	△ 13.4
7	6,267	△ 3.7	△ 7.8	△ 2.4	△ 9.2
8	3,023	5.8	△ 14.3	2.5	6.6
9	3,808	17.2	4.2	24.1	14.6
10	3,226	23.5	37.2	52.4	12.6
11	3,356	21.9	46.3	12.8	16.9
12	3,689	26.1	51.9	24.9	23.7
2014/1	3,929	35.4	54.4	61.6	24.4
2	4,307	14.1	43.0	△ 7.2	17.1
3	6,481	20.5	26.1	23.1	15.8
4	3,590	△ 4.6	△ 12.9	△ 20.3	4.9
5	3,284	2.1	△ 0.9	△ 2.0	5.1
6	6,075	8.1	3.8	3.8	17.9

注)前年同月比

注)普通乗用車及び小型乗用車は登録車、軽乗用車は届出車の数値を表示。



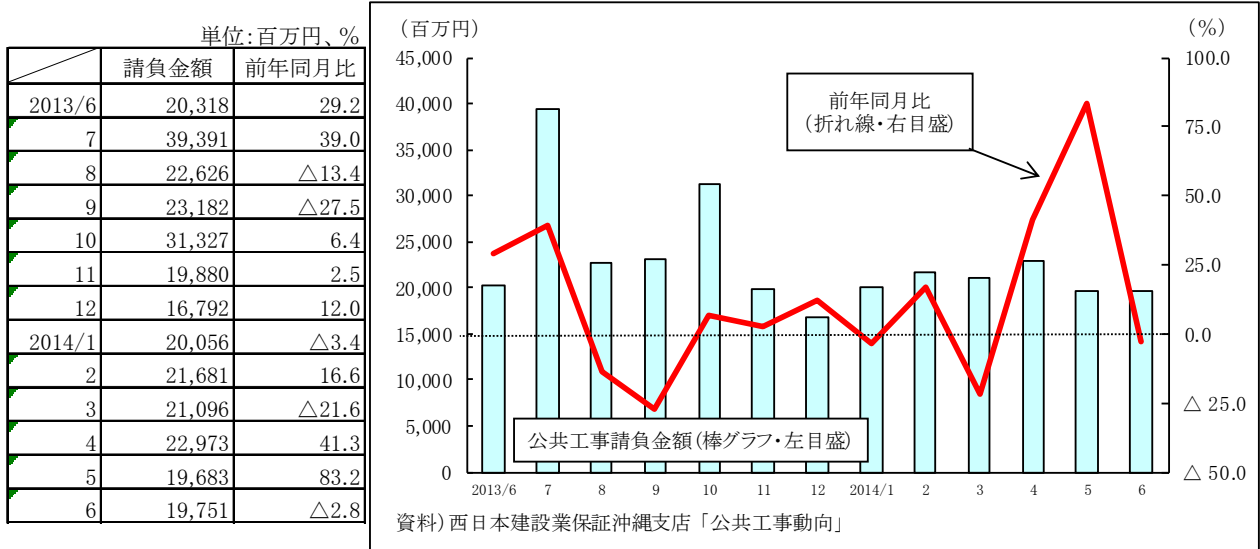
新車販売台数は、全体で6,075台(同 8.1%増)となり、2ヵ月連続で前年同月を上回りました。レンタカー需要や消費税増税に伴う駆け込み需要の反動減からの持ち直しなどにより「普通乗用車(同 3.8%増)」「小型乗用車(同 3.8%増)」が3ヵ月ぶりに前年同月を上回りました。また、「軽乗用車(同 17.9%増)」も、ランニングコスト(燃費、税負担、車検費用など)の安さから好調に推移し、11ヵ月連続で前年同月を上回りました。

※普通乗用車及び小型乗用車は登録ベース、軽乗用車は届出ベースの数値を合算。



■ 建設関連: (良い)

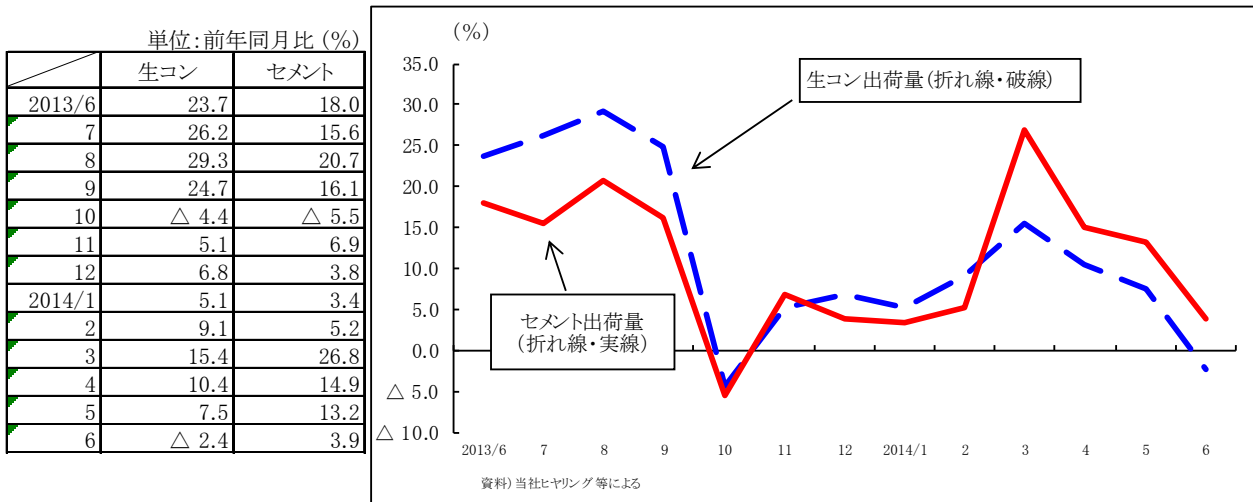
①公共工事…公共工事請負金額は前年同月を下回る。



6月の公共工事請負金額は、前年同月比2.8%減の197億5,100万円となりました(3ヵ月ぶり減)。

発注者別でみると、「沖縄県(同147.0%増)」や「市町村(同27.5%増)」が漁港関連工事、図書館新築工事などの大型工事などで前年同月を上回ったものの、「国(同39.4%減)」は昨年あった港湾関連工事、「その他の公共的な団体(同73.4%減)」は協会施設新築工事などの大型工事の反動、「独立行政法人等(同14.0%減)」も前年同月を下回り、全体を押し下げました。

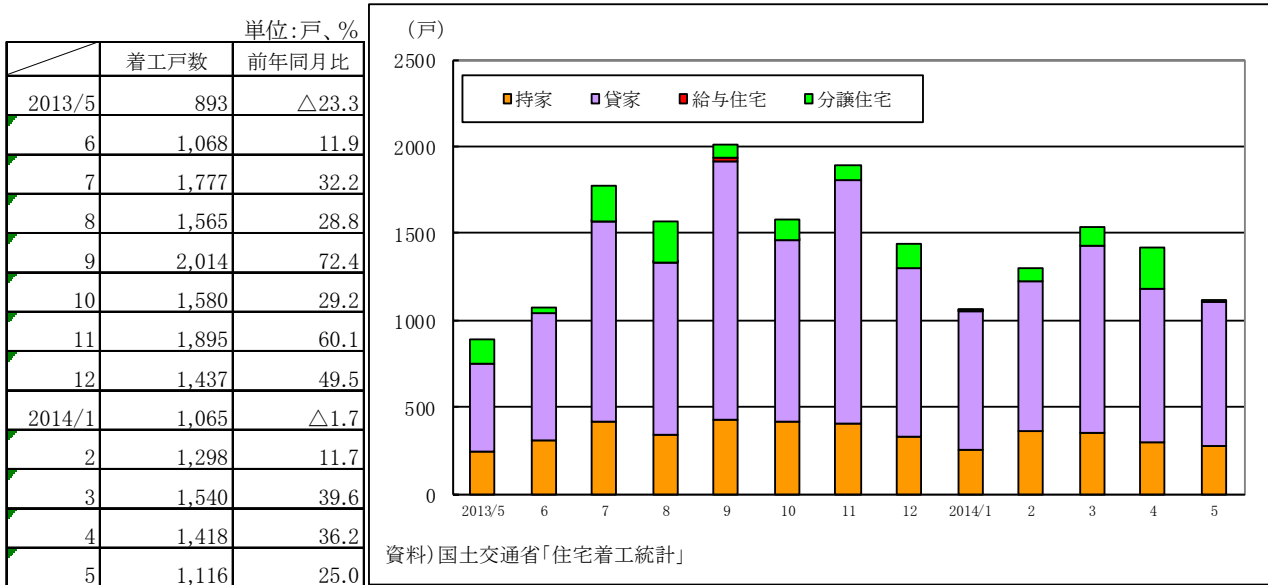
②建設資材…生コンは前年同月を下回り、セメントは上回る。



(注) セメント出荷量については速報値につき、確定数値ではない

建設資材関連では、生コンの出荷量は2.4%減少し、8ヵ月ぶりに前年同月を下回りました。内訳では、公共工事向け出荷が前年同月より17.8%上回ったものの、民間工事向け出荷は9.6%下回りました。セメントの出荷量は3.9%増と8ヵ月連続で前年同月を上回りました。

【参考】 住宅投資 (5月分) …着工戸数は前年同月を上回る。



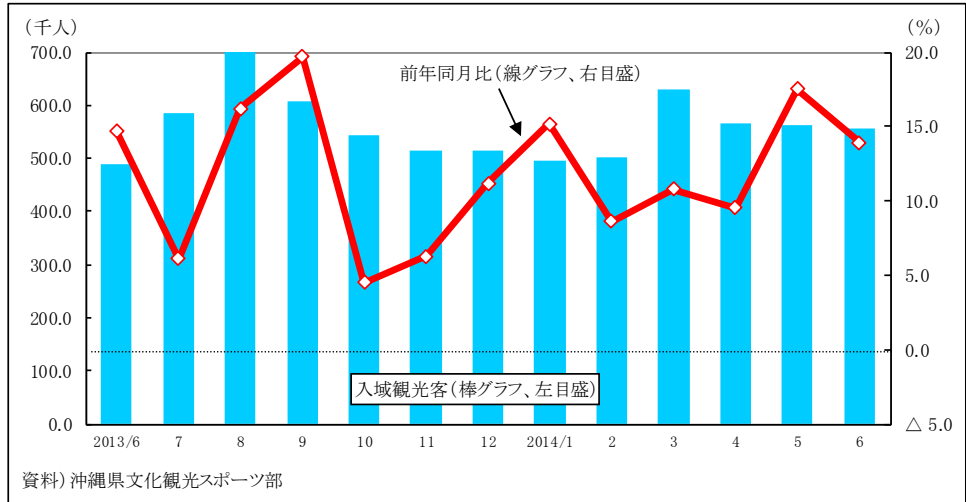
新設住宅着工戸数 (5月)は、全体で 1,116 戸となり、「分譲住宅(同 91.8%減)」が前年同月を下回ったものの、ウェイトの高い「貸家(同 65.8%増)」や「持家(同 10.7%増)」などが前年同月を上回り、全体を押し上げました。



■観光関連： (良い)

①入域観光客数…21ヵ月連続で前年同月を上回る。

単位:千人、%		
	入域観光客	前年同月比
2013/6	489.1	14.7
7	583.9	6.1
8	705.5	16.2
9	607.4	19.7
10	543.0	4.5
11	513.6	6.3
12	515.5	11.2
2014/1	495.1	15.2
2	503.1	8.6
3	630.2	10.8
4	565.6	9.5
5	561.4	17.5
6	557.3	13.9



※外国客は乗務員等を含む

6月の入域観光客数は、68,200人多い557,300人(前年同月比13.9%増)となり、21ヵ月連続で前年同月を上回りました。(6月としては過去最高)

内訳をみると、「国内客(同8.3%増)」は461,800人と、航空路線の拡充などのほか沖縄方面への旅行マインドの好調さも加わり、8ヵ月連続で前年同月を上回りました。また、LCCの減便があったものの、沖縄方面全体の提供座席数は前年並みであったことから、前年同月を上回りました。

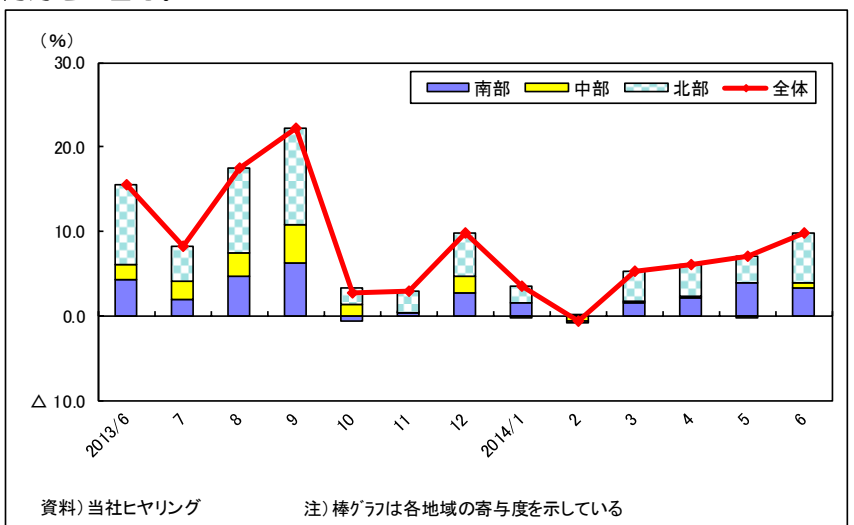
他方、「外国客(同52.8%増)」は、95,500人と11ヵ月連続で前年同月を上回りました。航空路線の新規就航や増便などの路線拡充のほか、クルーズ船の寄港効果も加わり、多くの地域から増加しました。

「台湾(同42.6%増)」「韓国(同78.1%増)」「中国本土(同168.2%増)」「香港(同52.7%増)」

※ 乗務員等を除く2014年6月実績=全体545,500人(同13.6%増)、外国客83,700人(同55.9%増)、国内客は変わらない。

②観光施設入場者数…4ヵ月連続で前年同月を上回る。

単位:%				
	入場者数(前年同月比)			
	全体	南部	中部	北部
2013/6	15.4	10.6	14.5	19.9
7	8.2	5.9	18.6	7.5
8	17.5	13.2	21.2	19.4
9	22.2	17.4	38.6	21.9
10	2.7	△1.4	10.2	4.6
11	2.9	0.6	0.05	6.1
12	9.9	6.5	14.4	11.6
2014/1	3.4	4.0	△0.1	4.0
2	△0.6	0.6	△4.0	△0.5
3	5.3	3.7	1.2	8.0
4	6.0	5.5	1.7	7.8
5	7.0	9.6	△0.01	6.7
6	9.8	8.3	5.6	12.0



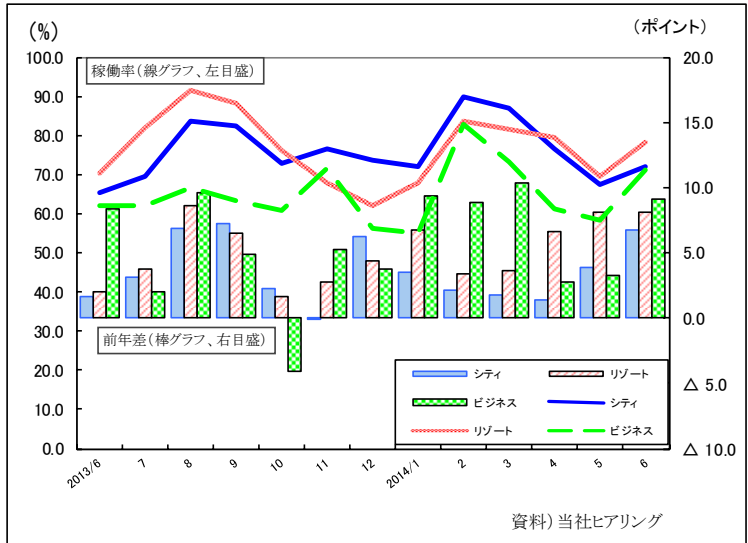
* 調査対象施設数=南部6、中部6、北部5施設

観光施設入場者数は、全体で前年同月より9.8%増加(4ヵ月連続)しました。地域別にみると、南部にある観光施設は同8.3%増と8ヵ月連続、中部は同5.6%増と2ヵ月ぶり、北部は同12.0%増と4ヵ月連続で前年同月を上回りました。

③ホテル稼働率…シティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてで前年同月を上回る。

単位: %、ポイント

	稼働率			前年同月差		
	シティ	リゾート	ビジネス	シティ	リゾート	ビジネス
2013/6	r 65.4	r 70.2	61.9	r 1.7	r 2.0	8.4
7	69.4	82.1	62.0	3.1	3.8	2.0
8	83.8	91.7	66.7	6.9	8.6	9.6
9	82.4	88.0	63.3	7.3	6.5	4.9
10	73.0	76.2	60.6	2.2	1.6	△ 4.1
11	76.6	67.7	71.6	△ 0.1	2.7	5.2
12	73.7	62.0	56.4	6.3	4.4	3.7
2014/1	72.0	68.0	55.1	3.5	6.8	9.3
2	90.0	83.5	82.9	2.1	3.4	8.9
3	86.8	81.7	73.3	1.8	3.6	10.3
4	76.5	79.5	61.2	1.4	6.6	2.7
5	67.4	69.4	58.5	3.9	r 8.1	3.3
6	72.1	78.3	71.0	6.7	8.1	9.1



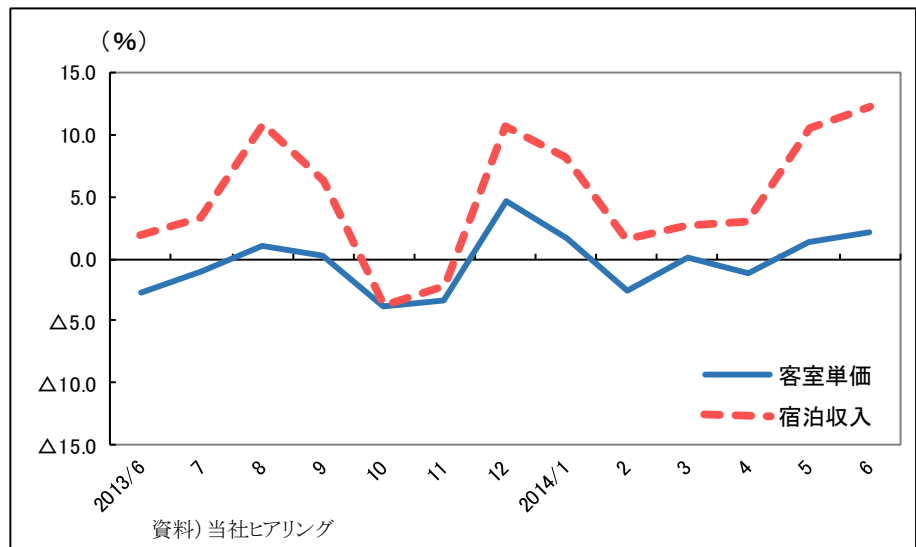
注)シティ10ホテル、リゾート19ホテル、ビジネス7ホテル
※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。

県内ホテル稼働率は、シティホテルが72.1%と6.7ポイント上昇(7ヵ月連続)、リゾートホテルが78.3%と8.1ポイント上昇(18ヵ月連続)、ビジネスホテルが71.0%と9.1ポイント上昇(8ヵ月連続)しました。

④ホテル客室単価・宿泊収入…客室単価は前年同月を上回り、宿泊収入も上回る。

単位: %

	客室単価	宿泊収入
2013/6	r △2.8	r 1.9
7	△1.0	3.2
8	1.0	10.8
9	0.3	6.3
10	△3.8	△3.8
11	△3.4	△2.1
12	4.6	10.6
2014/1	1.6	8.1
2	△2.6	1.5
3	0.1	2.7
4	△1.2	3.0
5	1.3	r 10.5
6	2.1	12.2



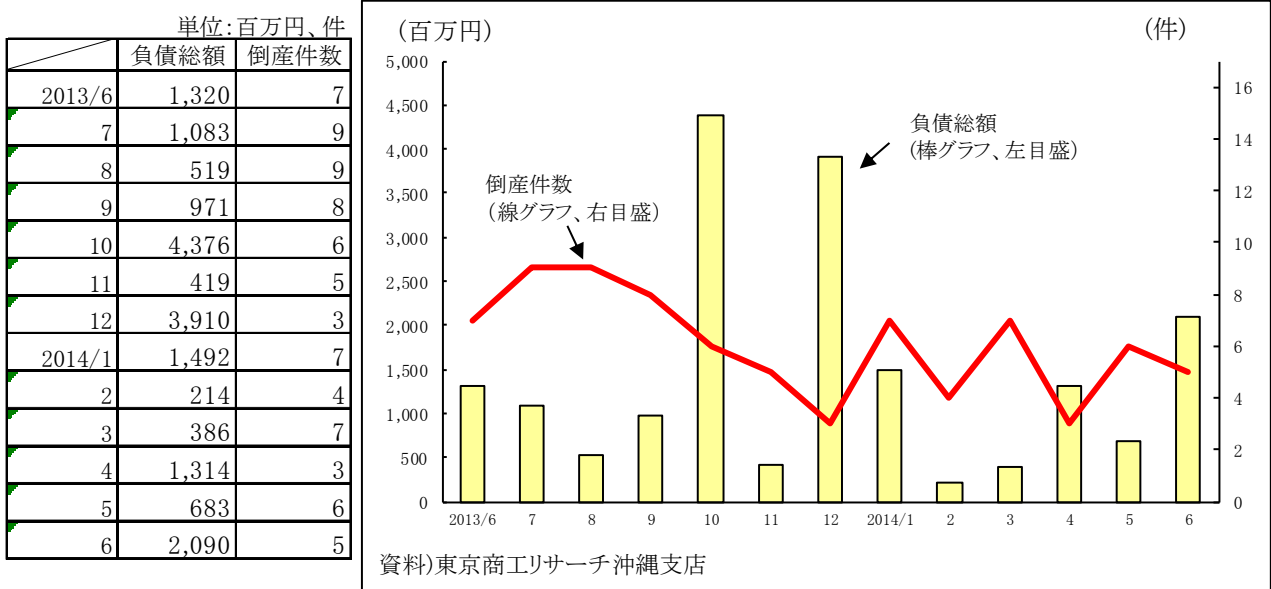
※対象施設数:29施設(シティ10、リゾート19)、ビジネスは除く
※客室単価は29施設の平均値、宿泊収入は各施設の推計値の総額(稼働率及び客室単価より当社推計)
※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする
※2014年4月指標より新たに掲載

ホテル客室単価(シティ&リゾート)が前年同月比2.1%増と前年同月を上回ったほか、稼働率の上昇等により宿泊収入も同12.2%増と前年同月を上回りました。



■企業倒産: (ふつう)

企業倒産…件数は前年同月を下回り、負債総額は上回る。

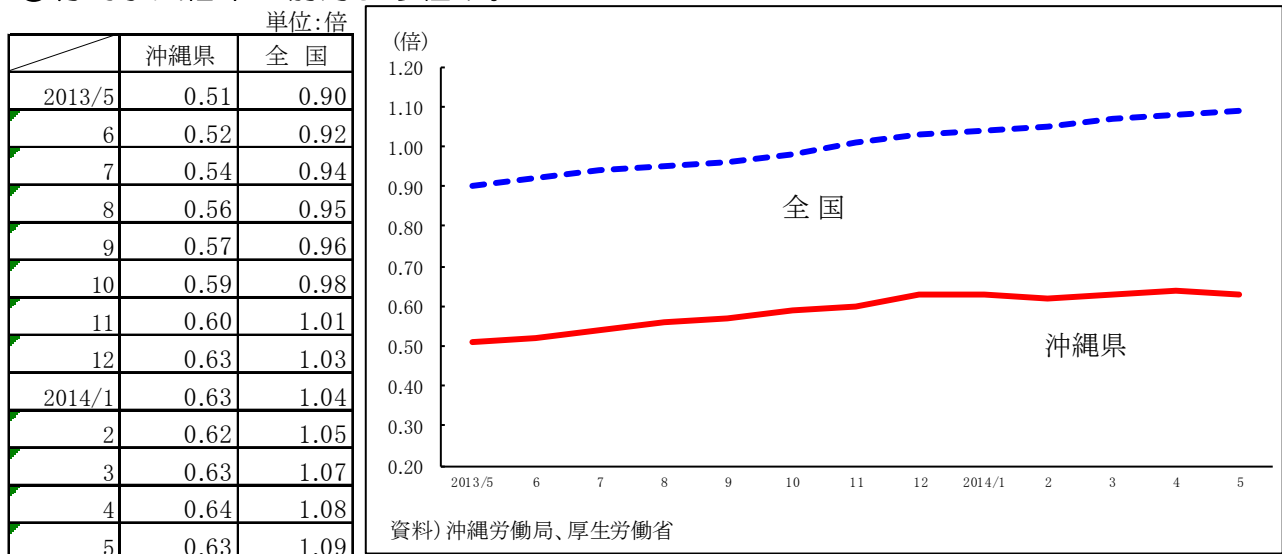


6月の**企業倒産件数**は、5件(うち、10億円以上の大型倒産が1件、1億円以上の大口倒産0件)発生し前年同月より28.6%減少したものの、負債総額は20億9,000万円と58.3%増加しました。



【参考】雇用関連: (やや良い)

①有効求人倍率…前月より低下。



注) 季節調整済

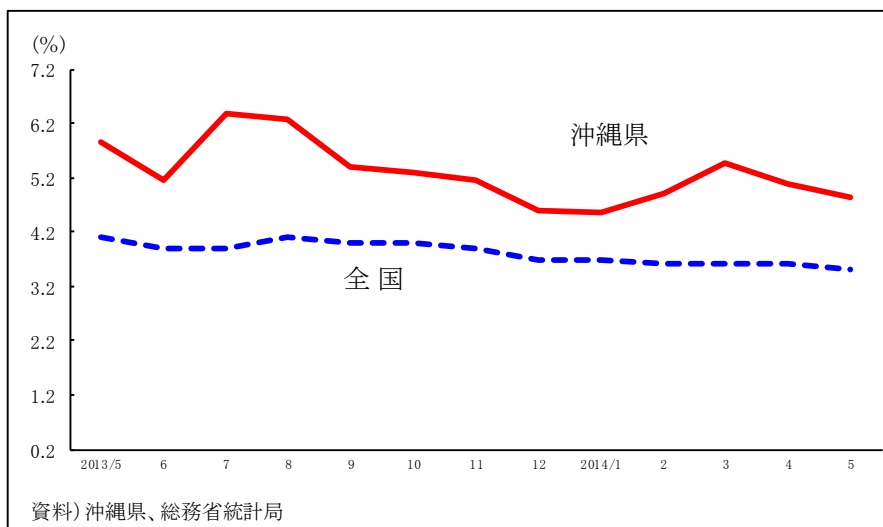
注) 季節調整法は、センサス局法Ⅱ(X-12-ARIMA)による

5月の**雇用状況**は、月間有効求人数(季節調整値)は前月比3.3%減の18,735人に対して、月間有効求職者数(同上)は同2.4%減の29,669人となり、有効求人倍率(季節調整値)は0.63倍となり前月より0.01ポイント低下しました。

② 完全失業率…前月より改善。

単位:倍		
	沖縄県	全国
2013/5	5.8	4.1
6	5.2	3.9
7	6.4	3.9
8	6.3	4.1
9	5.4	4.0
10	5.3	4.0
11	5.2	3.9
12	4.6	3.7
2014/1	4.6	3.7
2	4.9	3.6
3	5.5	3.6
4	5.1	3.6
5	4.8	3.5

注) 季節調整済



5月の完全失業率(季節調整値)は、4.8%となり前月より0.3ポイント低下しました。